

## 東吾妻縦走

山行日： 10月31日～11月1日

参加者： 鴨志田、松藤、山崎

工程：1日目 浄土平駐車場 8:58－吾妻小富士 9:37－東吾妻山 11:47－谷地平避難小屋 14:00

2日目 谷地平避難小屋 5:54－東大巔 8:25－昭元山 9:21－家形山 11:48－一切経山 12:48/13:06  
－浄土平駐車場 14:07

今回の東吾妻縦走で密かに抱いていた目標は、今年2月の雪中縦走で達し得なかった東大巔の頂を、吾妻連峰の東側である浄土平からいただくことである。同行者へは特に言っていない。

前夜の雪が残る浄土平の無料駐車場に予定通り9時前に到着した。真っ青な空に、吾妻小富士が美しい。まずは、この吾妻小富士の火口をサクッと周回し、吾妻連峰に踏み入る。鎌沼の端から沼を垣間見て、姥ヶ原から東吾妻山をピストンする。同行者は早くも、姥ヶ原にアイゼン入りのバックをデポし、身軽な出立ちで登山に望む。いいのかな、アイゼンを持参しなくても、と前の日光白根山で、初冠雪にアイゼンを忘れて痛い思いをした自分は、背にしたバックの中にアイゼンを忍ばせて歩く。案ずるより産むが易しとのことで、頂上付近は10cm程度の雪でスイスイとアイゼンなしで頂上を頂く。頂上からは、磐梯山と吾妻連峰の西吾妻山、中大巔から、明日目指す東大巔までの稜線を望むことができた。山はいいな。

谷地平避難小屋は、谷地平の東端に位置し、静かな避難小屋であった。夕食は、シェフ山さんの特製のマグロの漬け、もつ煮、おでんに、小生の何時もの米から炊いたご飯にカレーの夕食を食す。まずはビールで乾杯のうえ、夕食といただき、後はまたまたいつもの瓶ウイスキーで楽しいひとときを頂くが、今回初避難小屋の松さんは、何の疲れか、はたまた付き合いきれないと、座ったまま仮眠中。山はいいなど、貸し切りの小屋であっけなく全員就寝。



東大巔の頂上直下には、沢山の花のあとが、夏に高山植物きれいだろうな。来年は、夏に来ようと思いつつながら、頂上を頂く。頂上からは、雪を被った鳥海山、月山、大朝日が、北方面には、まだ雪を抱いていない蔵王連峰がどっしりと見える。東には、これから縦走する、昭元山、家形山の奥隣に一切経らしき山があるが、思ったより遠いぞ。行けるかとの思いとともに、人ってあそこまで4、5時間で行けるんだから、凄いなと思いつつながら、山ちゃん、松さんの顔を見る。

五色沼、松さんの瞳、いや、魔女の瞳を望んで、瞳の目元（何だ）を横切り、更に魔女の瞳を望む一切経山の頂上に至る。経文が収められた塔の周りを頂上とおもい、一人周回する自分の姿は、周りの目にと



のように写ったか、恥ずかしい限りであるが、こちらは真剣である。頂上からは、吾妻連峰の凛々しき稜線あり。さらに、真っ白な飯豊連峰が、これはこれは神々しいとしか言いようのないお姿を見せていただきました。雪の飯豊連峰歩きも楽しいだろうなと思いつつながら、いつものように山はいいなの、山行でした。